

○当初から改善されていないもの「×」の理由、今後の対応策

第2章 子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち(保健・福祉・医療)

No.	章	節	項	数値目標	当初から改善されていない理由	今後の対応策
17	2	4	1	市民の健康づくりを支援するボランティアの登録者数(食生活改善推進員数)	成年期や壮年期の登録者が伸び悩んだことや登録者の高齢化に伴う退会が増加したため、登録者数が低迷した。	成年期や壮年期の人への啓発を強化し養成者数を増やし、食生活の改善について一層の啓発に取り組む。

第3章 多様に学び、文化をはぐくむまち(教育・文化)

No.	章	節	項	数値目標	当初から改善されていない理由	今後の対応策
21	3	1	1	不登校の児童生徒数	人間関係がうまくつけれない、気力が湧かない、漠然とした不安をかかえるなど、さまざまな要因が複合的に絡み合い、不登校の児童生徒数が増加傾向にあると考えられる。	各教科において、児童生徒に身に付けさせる力を整理する中で、児童生徒が、「わかった」「できた」と実感するとともに、互いの考えを認め合いながら、思いやり・感性を育んでいく授業づくりに取り組む。また、不登校児童生徒の家庭へのアプローチにおいては、福祉部と連携した取組を進める。
22	3	2	1	公民館主催事業の講座数	受講生や講師の固定化・高齢化が進み、講座の実施が困難となり、開催講座数が低迷している。	講座の企画・実施にあたっては、多様なニーズに対応できるよう参加者や講師の広がりに向けて取り組むとともに、地域課題や生きがいづくりに資する内容を充実させるよう取り組む。
23	3	2	1	図書館の貸出冊数	インターネットやスマートフォンなどの普及により、読書環境が著しく変化したため、貸出冊数が減少したと考えられる。	展示特集の充実と新規の利用者獲得のためのPRを行い、一人当たりの貸出冊数増に向けて取り組む。

第4章 産業の力みなぎる活力とにぎわいのあるまち(活力・交流)

No.	章	節	項	数値目標	当初から改善されていない理由	今後の対応策
29	4	2	1	福山港コンテナ取扱量	中国での人件費高騰によって生産拠点が東南アジアにシフトしたことなどにより、中国航路を中心とする福山港における取扱量が低迷したと考えられる。	他港利用の転換誘導や東南アジア航路・フィーダー航路の強化により、コンテナ取扱量の増加に努める。
30	4	2	2	市のホームページアクセス件数	市のホームページのトップページを経由することなく情報を入手する機会が増えたため、トップページのアクセス件数が減少したと考えられる。	利便性・効率性・満足度が高まるよう、市のホームページのリニューアル等を行う。
32	4	3	1	福山駅周辺の通行量(休日)	中心市街地から大型商業施設が撤退するなど、福山駅周辺の魅力の低下が原因と考えられる。	遊休不動産を活用した「リノベーションまちづくり」や民間事業者が実施する社会実験と連携し、福山駅周辺の魅力向上に取り組む。
33	4	3	1	中心市街地の居住人口	中心市街地から大型商業施設が撤退するなど、福山駅周辺の魅力の低下が原因と考えられる。	遊休不動産を活用した「リノベーションまちづくり」や民間事業者が実施する社会実験と連携し、福山駅周辺の魅力向上に取り組む。
34	4	4	1	小売業年間商品販売額	インターネット販売など、商業環境が変化したことにより、小売業年間商品販売額が減少したと考えられる。	Fuku-Bizなどの支援施策の周知などにより、小売業年間商品販売額の増加につなげる。

No.	章	節	項	数値目標	当初から改善されていない理由	今後の対応策
35	4	4	1	卸売業年間商品販売額	インターネット販売など、商業環境が変化したことにより、卸売業年間商品販売額が減少したと考えられる。	Fuku-Bizなどの支援施策の周知などにより、卸売業年間商品販売額の増加につなげる。
38	4	6	1	勤労者福祉共済事業会員数	中小企業を取り巻く現下の厳しい経済情勢を受けて、退会者が入会者を上回り、加入増に結びついていない。	企業訪問活動を通じた事業発信や共済メニューの見直しなどにより、会員の加入促進に努める。
39	4	7	1	ふくやまブランド農作物の出荷量	新規就農者の育成・確保により産地活性化に取り組んだが、高齢化に伴う離農などが一層進行して生産者が減少したことに伴い、出荷量も減少となった。	新規就農者などが産地への加入をめざす研修制度の充実を図ることで担い手の育成に取り組むとともに、6次産業化など新たな販路の開拓を図る。

第5章 市民とともにつくる自立したまち(協働・行革)

No.	章	節	項	数値目標	当初から改善されていない理由	今後の対応策
43	5	1	1	まちづくりに関心がある市民の割合	まちづくりに関わる市民が固定化する傾向にあり、目標数値の達成に至っていない。	幅広い世代のまちづくりへの関心を促す取組を充実させることにより、目標達成できるように取り組む。